

常態化する旧海軍駐機場の即時使用禁止等を求める意見書

嘉手納飛行場旧海軍駐機場（以下「旧海軍駐機場」という）の使用については、本町議会において、再三にわたり旧海軍駐機場の航空機使用禁止及びSACO合意遵守等を求める意見書・抗議決議を全会一致で可決した。しかし米軍は抗議決議を無視し、5月中旬まで、断続的に旧海軍駐機場において訓練を繰り返した。

そのような中、旧海軍駐機場の使用に関して、當山宏嘉手納町長及び石嶺邦雄嘉手納町議会議長は5月14日に小泉防衛大臣に対し、「本町は、町民の更なる基地負担の増加につながる旧海軍駐機場の航空機の使用を、今後一切行わないことを米側へ強く申し入れるよう」要請を行った。これを受けて、5月19日の記者会見で小泉防衛大臣は「スピード感をもってアメリカ側との協議をすすめ早期解決を図るよう、私から事務方に指示しており」と発言した。その後ノータム情報に「令和8年5月19日(火)13時42分から5月29日(金)5時59分まで、旧海軍駐機場及びパパループ内でホットピット運用は許可されていない」と掲載され、しばらくは旧海軍駐機場は使用されなかった。日米間において断続的に協議されているものと推察し、大きな期待を寄せつつ協議の動向に注視していたところである。ところが6月9日にはHH-60救難ヘリ2機が、17日にはF-22戦闘機6機が、18日にはKC-135空中給油機1機が旧海軍駐機場を使用したことが確認された。

そもそも住民居住地に近接する旧海軍駐機場の使用は騒音や悪臭等の被害を周辺住民にもたらし、その負担軽減が議論されてきた。旧海軍駐機場移転は、平成8年12月2日のSACO最終報告において、騒音軽減イニシアティブ（騒音軽減の実現）の一環として移転が決定し、日本政府が157億円もの膨大な費用を負担し、平成29年1月に移転が完了した。しかし、移転直後から旧海軍駐機場の使用が確認され、恒常的使用に強い危機感を抱いてきた。日本政府は、米軍に対して、旧海軍駐機場の使用禁止を毅然とした態度で求めるべきである。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、旧海軍駐機場の使用に対し厳重に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を強く要求する。

記

- 1 旧海軍駐機場の航空機の使用を直ちに禁止すること。
- 2 SACO合意を遵守すること。
- 3 旧海軍駐機場を閉鎖し同地を緑地帯に転換するなど、今後一切、駐機場として利用できないようにすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年6月22日
沖縄県嘉手納町議会

（あて先）

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官（沖縄基地負担軽減担当）

沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使（沖縄担当） 沖縄防衛局長 沖縄県知事

常態化する旧海軍駐機場の即時使用禁止等を求める抗議決議

嘉手納飛行場旧海軍駐機場（以下「旧海軍駐機場」という）の使用については、本町議会において、再三にわたり旧海軍駐機場の航空機使用禁止及びSACO合意遵守等を求める意見書・抗議決議を全会一致で可決した。しかし米軍は抗議決議を無視し、5月中旬まで、断続的に旧海軍駐機場において訓練を繰り返した。

そのような中、旧海軍駐機場の使用に関して、當山宏嘉手納町長及び石嶺邦雄嘉手納町議会議長は5月14日に小泉防衛大臣に対し、「本町は、町民の更なる基地負担の増加につながる旧海軍駐機場の航空機の使用を、今後一切行わないことを米側へ強く申し入れるよう」要請を行った。これを受けて、5月19日の記者会見で小泉防衛大臣は「スピード感をもってアメリカ側との協議をすすめ早期解決を図るよう、私から事務方に指示しており」と発言した。その後ノートム情報に「令和8年5月19日(火)13時42分から5月29日(金)5時59分まで、旧海軍駐機場及びパパループ内でホットピット運用は許可されていない」と掲載され、しばらくは旧海軍駐機場は使用されなかった。日米間において断続的に協議されているものと推察し、大きな期待を寄せつつ協議の動向に注視していたところである。ところが6月9日にはHH-60救難ヘリ2機が、17日にはF-22戦闘機6機が、18日にはKC-135空中給油機1機が旧海軍駐機場を使用したことが確認された。

そもそも住民居住地に近接する旧海軍駐機場の使用は騒音や悪臭等の被害を周辺住民にもたらし、その負担軽減が議論されてきた。旧海軍駐機場移転は、平成8年12月2日のSACO最終報告において、騒音軽減イニシアティブ（騒音軽減の実現）の一環として移転が決定し、日本政府が157億円もの膨大な費用を負担し、平成29年1月に移転が完了した。しかし、移転直後から旧海軍駐機場の使用が確認され、恒常的使用に強い危機感を抱いてきた。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、旧海軍駐機場の使用に対し厳重に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を強く要求する。

記

- 1 旧海軍駐機場の航空機の使用を直ちに禁止すること。
- 2 SACO合意を遵守すること。
- 3 旧海軍駐機場を閉鎖し同地を緑地帯に転換するなど、今後一切、駐機場として利用できないようにすること。

以上、決議する。

令和8年6月22日
沖縄県嘉手納町議会

（あて先）

駐日米国大使 太平洋空軍司令官 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事 嘉手納基地第18航空団司令官 沖縄県議会議長